

故 加藤正明助教授を偲んで

防災研究所地震予知研究センター上宝観測所 加藤正明助教授は、今後の活躍が期待されていた前途有望の身でありながら、平成2年12月6日49才の若さで急逝されました。誠に痛恨の極みであります。亡くなられてからすでに4ヶ月が過ぎ去りましたが、この機会にあらためて加藤氏が歩んで来られた研究の軌跡と今日迄の業績をたどり、同氏を偲ぶよすがとさせて頂きたいと思ひます。

故加藤助教授は、昭和39年3月京都大学理学部地球物理学科を卒業後、同年6月防災研究所助手に採用されましたが、翌40年4月には理学部へ転じ、地球物理学教室において地殻変動の基礎的研究を始められました。46年4月再び防災研究所へ配置換となり、地殻変動部門次いで地震予知計測部門において、地震予知を目標とする地殻変動連続観測に携わる一方、このための高感度の観測計器の設計と開発研究を精力的に行つて来られました。同氏が開発された観測計器は多数に上りますが、このうち特に電磁差動トランスデューサー型水平振子傾斜計、水管傾斜計および伸縮計は高感度・高精度でかつ安定性に優れ、極めて信頼性の高い観測データが得られるものです。同氏はこれらの観測計器を上宝観測所をはじめ各地の観測室に設置して地殻変動観測を継続される一方、これらの観測データを解析して、永年の地殻変動および地球潮汐傾斜振幅の時間的变化と地震発生との関連性の研究に打込み、顕著な成果を挙げられました。同氏はこれらの研究により、昭和56年、「電磁トランスデューサーを用いて新しく設計した水平振子ならびに水管傾斜計による地殻変動の観測」と題する学位論文により、京都大学より理学博士の学位を授与されました。

昭和57年5月、加藤氏は防災研究所附属上宝地殻変動観測所助教授に昇任された後直ちに同観測所へ赴任され、以来こゝを観測の第一線基地として、各地観測室の構築と観測計器の設置、テレメータ観測システムの開発に当られ、同時に地殻変動と地震予知の研究に日夜専念して来られました。一方、同氏は現地責任者として強い責任感と誠意を以て観測所の運営や地元との折衝にも当られ、同氏の真摯で誠実な人柄は研究者仲間や観測所員をはじめ地元上宝村の人々の敬愛を集めておられました。平成2年6月、地震予知関係組織の統合により、附属地震予知研究センター上宝観測所となった後も、同氏は特に希望して同観測所勤務となり、引続いてこゝで観測・研究を継続したいとの強い意志を述べられました。しかしその強い意志にもかかわらず、最近時折不調を訴えられたこともあり、遂に不幸にも不帰の客となられたことは返す返すも残念の極みであります。

故加藤助教授が心血を注いで設置に当たられた観測室は、東は長野県須坂観測室、北は能登半島の宝立観測室、上宝周辺では上宝蔵柱観測室のほか跡津川断層に沿う西天生・宮川・立山の3観測室、南は紀伊半島の由良・紀州両観測室、四国室戸観測室の9箇所にも及び、西南日本中央部における地殻変動観測の多くの部分が同氏の観測にかけた情熱によって支えられて来たと言つても過言ではないでしょう。加藤氏が設計・開発した観測計器の多くと、これらの観測室は今日なお生き続けており、テレメータによって生きた地球の鼓動を吾々に送り続けています。また加藤氏が残された論文は、共著論文を含み44篇に及んでいます。これらの観測データと研究成果は貴重な財産として、今後も残された吾々や若い研究者に永く引継がれて行くものと確信しています。

こゝに故加藤助教授の在りし日を偲びつつ、謹んで哀悼の意を表したいと思ひます。

平成3年4月

地震予知研究センター

教授 三 雲 健



加藤正明助教授

故加藤正明助教授研究業績

論 文

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1965	可変容量型歪計の試作	京都大学防災研究所年報, 第 8 号	田中寅夫
1966	二重振子型高感度傾斜計による地殻傾動の観測 (第一報)	京都大学防災研究所年報, 第 9 号	田中 豊
1967	地震活動に関係した地殻変動 (1)	京都大学防災研究所年報, 第10号	田中 豊・小泉 誠
1967	Continuous Observations of the Ground Deformations Related to the Matsushiro Earthquakes	Bull. Disast. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 17, Part 1, No. 120	Ichinohe, T., T. Takata, T. Tanaka, T. Furusawa, M. Koizumi and M. Yamada
1967	Tilting Movement of the Ground Related to the Matsushiro Earthquakes	Special Contributions, Geophysical Institute, Kyoto University, No. 7.	Ichinohe, T.
1968	地震活動に関係した地殻変動 (2) ——東海地方東部に地震活動と伊豆長岡で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 11 A	田中 豊・伊藤芳郎
1968	上宝地殻変動観測所における土地傾斜変化の観測 (第1報)	京都大学防災研究所年報, 11 A	一戸時男・富永 進
1968	上宝地殻変動観測所における土地傾斜変化の観測 (第1報)	京都大学防災研究所年報, 11 A	一戸時男・富永 進
1969	地殻活動に関係した地殻変動 (4) ——中部地方北西部の地震活動と尾小屋で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 12 A	田中 豊・小泉 誠
1970	地震活動に関係した地殻変動 (5A) ——近畿地方北西部の地震活動と生野で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 13 A	田中 豊・小泉 誠
1970	地震活動に関係した地殻変動 (5B) ——近畿地方北西部の地震活動と生野で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 14 A	田中 豊・小泉 誠
1971	地震活動に関係した地殻変動 (5B) ——中部地方北西部の地震活動と神岡で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 14 A	田中 豊・小泉 誠
1972	六甲断層破砕帯における地殻変動の連続観測 (序報)	京都大学防災研究所年報, 15 B	田中 豊・林 守孝 小泉 誠・藤田和夫
1972	六甲断層破砕帯における地殻変動の連続観測 (第1報)	京都大学防災研究所年報, 15 B	田中 豊・林 守孝 藤田和夫
1973	地震活動に関係した地殻変動 (7) ——羽越地方の地震活動と赤谷で観測された地殻変動——	京都大学防災研究所年報, 16 B	田中 豊・小泉 誠 細 善信
1973	差動トランス型水管傾斜計の試作	京都大学防災研究所年報, 16 B	津嶋吉男
1974	On the Change of Crustal Elasticity and Earth Tides,	J. Geod. Soc. Japan, Vol. 20, No. 3	Tanaka, T.
1976	ペルー及びチリにおける地殻変動と地震活動の学術調査——調査の目的と概要——	学術月報, Vol. 29, No. 3	中川一郎・田中 豊 尾池和夫

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1976	Time Domain Analysis of Earth Tide Records	Bull. Disast. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 26, Part 2	Mikumo, T.
1976	上宝における地殻変動の連続観測	測地学会誌, 第22巻, 第3号	土居 光・和田安男・三雲 健
1977	跡津川断層における光波測量(第1報)	京都大学防災研究所年報, 20 B-1	田中寅夫・細 善信 土居 光・小泉 誠 和田安男
1977	Observation of Crustal Movements by Newly-Designed Horizontal Pendulum and Water-Tube Tiltmeters with Electromagnetic Transducers (1)	Bull. Disast. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 27, Part 4, No. 252,	
1977	Possibility of Temporal Variations in Earth Tidal Strain Amplitudes Associated with Major Earthquakes,	J. Phys. Earth, 25, Supplement Issue,	Mikumo, T., H. Doi, Y. Wada, T. Tanaka, R. Shichi and A. Yamamoto
1977	International Connection of Gravity between Japan and South America	測地学会誌, 第23巻, 第2号	Nakagawa, I., Y. Tanaka, M. Satomura, and K. Oike
1978	上宝地殻変動観測所の地殻変動・地震観測 テレメータ・システム	京都大学防災研究所年報, 21 B-1	三雲 健
1978	油壺・鋸山における各種傾斜計の同時比較観測	測地学会誌, 第24巻, 第3号	柳沢道夫・高田誠一 佐藤忠弘・坪川恒也 佐藤範雄・田中 豊
1979	跡津川断層付近におけるボア・ホール型傾斜計による観測(1)	京都大学防災研究所年報, 22 B-1	土居 光・和田安男 三雲 健・田中寅夫 津嶋吉男・小泉 誠
1979	Observation of Crustal Movements by Newly-Designed Horizontal Pendulum and Water-Tube Tiltmeters with Electromagnetic Transducers (2)—— Variation in the Amplitude and Phase of Tidal Tilts Observed with a Water-Tube Tiltmeter at Kamitakara ——	Bull. Disast. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 29, Part 2, No. 263	
1979	和歌山県由良における地殻変動の連続観測	測地学会誌, 第25巻, 第1号	小泉 誠・細 善信 田中寅夫・田中 豊 新屋兼次郎
1979	和歌山県由良における傾斜, ひずみと降雨について	測地学会誌, 第25巻, 第4号	田中寅夫・細 善信
1980	跡津川断層, 上宝および中央構造線における光波測量	京都大学防災研究所年報, 23 B-1	田中寅夫・細 善信 土居 光・小泉 誠 和田安男・和田博夫 三雲 健
1981	紀州鉾山における土地傾斜観測	測地学会誌, 第27巻, 第1号	田中寅夫・細 善信 小泉 誠
1981	Observation of Crustal Movements by Newly-Designed Horizontal Pendulum and Water-Tube Tiltmeters with Electromagnetic Transducers (3) —— Time Variation of Tidal Admittance ——.	Bull. Disast. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 31, Part 2, No. 277,	

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1983	跡津川断層における光波測量と地殻変動連続観測	月刊地球 6	
1985	由良における地球潮汐の観測（観測システムと潮汐定数）	京都大学防災研究所年報, 28 B-1	田中寅夫・細 善信
1985	上宝における最近の地殻変動（1984年12月まで）	京都大学防災研究所年報, 28 B-1	土居 光・和田安男 和田博夫・細 善信
1985	由良における地殻変動観測への降雨の影響——ひずみの場合——	測地学会誌, 第31巻, 第3号	田中寅夫・細 善信
1986	跡津川断層上（天生・宮川）における地電流の観測	京都大学防災研究所年報, 29 B-1	中山 武・土居 光 和田安男・三雲 健
1986	跡津川断層西端上（天生）における地磁気全磁力の連続観測	京都大学防災研究所年報, 29 B-1	土居 光・中山 武 和田安男・和田博夫 田中寅夫・三雲 健
1986	室戸における地殻傾動の連続観測	京都大学防災研究所年報, 29 B-1	平原和朗・田中寅夫 細 善信・津嶋吉男
1987	跡津川断層上（天生・宮川）における電磁気的特性（序報）	京都大学防災研究所年報, 30 B-1	中山 武・土居 光 和田安男・三雲 健
1988	宝立・立山・須坂観測室の地殻変動観測テレメータ・システム	京都大学防災研究所年報, 31 B-1	土居 光・和田安男 津嶋吉男・三雲 健
1988	Monitoring of Crustal Movements in the Kii Peninsula, Southwestern Japan	Journal of Geodynamics, No. 9	Tanaka, T. and Y. Hoso
1988	宝立における電磁気観測	京都大学防災研究所年報, 32 B-1	中山 武・土居 光 和田安男・和田博夫 三雲 健・酒井英男 加藤隆司